

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	商学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価） 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 学習成果を図る指標としてのGPAおよび／または平均点を検証し、それらの活用方法（例えば、奨学金推薦要件、研究演習所属要件、研究科進学要件など）を改善する。	→GPAおよび／または平均点の基本統計量（平均、標準偏差など）の推移	C
2. 商学部の各教員が用いている教育効果の測定方法や成績評価の仕組みを共有し、客観的な評価方法を構築する。	→指標開発活動に関する教授会報告の状況、研究会の開催件数および提言・実施状況など	B
3. 単位認定のさらなる適正化を図り、MDSを積極的に提供する。	→単位認定の理由と件数、学士（商学）としての卒業生数、MDSの受入者数・修了者数	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.4.1	(現状説明) 2012年度からの実施を目標に現在、教育課程、カリキュラムの改正作業を進めている。上記の課題については、その作業に合わせ検討予定である。
☆ 小項目6.4.2	(現状説明) 2012年度からの実施を目標に現在、教育課程、カリキュラムの改正作業を進めている。本課題については、その作業に合わせ検討予定である。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価（1）】効果が上がっている事項

小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

【次年度に向けた方策（1）】伸ばさせるための方策

小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目6.4.1	
☆ 小項目6.4.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
☆ その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○評価項目6.4は主として卒業時以降に測られる成果です。例えば、各種資格試験の合格率や、大学院に進学した卒業生へのアンケート調査等からもアプローチできます。

【学内委員】

○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。このままでは、現状がまったくわかりません。課題や問題点もわかりません。

○現在カリキュラムの大幅な改編作業中であることは理解していますが、本項目の「現状」については説明が可能なはずですので、もっと詳細に記述する必要があります。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 現行の教育課程表は2000年度入学生より実施された。その後、ゆとり教育世代の入学、入試倍率・偏差値の低下、大学教育の質の保証を求める風潮の高まりなどを受け、具体的に学部では、教育の活性化と教育の質の確保を目標とし、継続的に議論し、現在2012年度の実施に向けて、専門基礎教育の強化等を含めた、カリキュラムの改正に取り組んでいる。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.4.0.S1	学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率
6.4.0.S2	定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度
6.4.0.S3	各学部における学生の進路状況
6.4.0.S4	一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数
6.4.0.S5	日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合
6.4.0.S6	各年次セメスターごとの履修単位数制限の状況
6.4.0.S7	成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率
6.4.0.S8	GPA値(全学、学部別、男女別など)
6.4.0.S9	修士学位・博士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S10	KGPSの修士学位・専門職学位の授与数
6.4.0.S11	3年卒業の適用者数
6.4.0.S12	ジョイント・ディグリーの授与者数
6.4.0.S13	標準修業年限未満の修了者の数
6.4.0.S14	在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率

<個別的な指標>
